第9回 農業委員会総会議事録

令和3年3月25日開会

中標津町農業委員会

令和3年3月25日、第9回中標津町農業委員会総会を中標津町議事堂において開催、農業委員を招集する。

本日出席した委員

1番	二瓶	裕貴
2番	横田	千秋
3番	谷川	好則
4番	長谷川	孝二
5番	田中	洋希
6番	竹村	聡
7番	武田	健治
8番	田中	世一
9番	瀧本	和男
10番	須崎	智
11番	和泉	光広
12番	後藤田	宏幸
13番	高橋	正一
14番	赤波江	信二
15番	小林	亨
16番	中村	正生
17番	笠原	康博
18番	本田	信幸

附議した案件

(イ)	議案第44号	農地法第18条第6項の規定による解約通知について
(ロ)	議案第45号	現況証明願いについて
(ハ)	議案第46号	農地法第3条の規定による許可申請について
(ニ)	報告第17号	農地法第4条の規定による農地転用許可後の事業完了届について
(ホ)	報告第18号	農地法第4条の規定による許可の取消について
(ヘ)	議案第47号	農地法第4条の規定による農地転用許可後の事業計画変更承認について
(ト)	議案第48号	農地法第4条の規定による許可申請について
(チ)	報告第19号	農地法第5条の規定による農地転用許可後の事業完了届について
(リ)	議案第49号	農地法第5条の規定による許可申請について
(ヌ)	議案第50号	農業経営基盤強化促進法第18条の規定による農用地利用集積計画の決定について
(ル)	議案第51号	耕地防風林の設置について
(ヲ)	議案第52号	農地法第6条の規定に基づく農地所有適格法人の定期報告による要件の確認について
(ワ)	報告第20号	農政委員会開催報告について
(カ)	報告第21号	農地委員会開催報告について

- (ヨ) 議案第53号 令和3年度中標津町農地移動適正化あっせん価格について
(タ) 報告第22号 農業経営改善計画認定について

本日出席した職員

事務局長	坂井一文
庶務係長	葛西利光
農地係長	小倉欣也
係	宮崎智佳

(開会 10時30分)

- 議長 定刻になりました。
ただいまの出席委員は、18名でございます。
定足数に達しておりますので、会議は成立致します。
ただ今から、第9回中標津町農業委員会総会を開会致します。
本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。
議事日程に従い、ただちに会議に入ります。
日程1「議事録署名委員の指名について」を議題に供します。
会議規則第24条第2項の規定により、議事録署名委員は議長において指名を致します。
17番、笠原 康博 委員。
1番、二瓶 裕貴 委員。
以上、2名を指名致します。
日程2「会務報告」を事務局長から報告致します。
- 事務局長 2月24日の総会以降につきまして、特にございませんでしたのでご報告いたします。以上で会務報告を終わります。
- 議長 以上で、会務報告を終わります。
日程3、議案第44号「農地法第18条第6項の規定による解約通知について」を上程致します。(1)について、事務局から説明をお願いします。
(挙手あり)農地係長
- 農地係長 議案第44号、農地法第18条第6項の規定による解約通知(1)について、事務局よりご説明申し上げます。議案の2ページをお開きください。
(1) 1、当事者の住所、氏名。
貸主、中標津町字〇〇〇〇〇〇番地、〇〇 〇。
借主、中標津町字〇〇〇〇〇〇番地〇、〇〇 〇〇。
2、解約する土地、字〇〇〇〇〇〇番〇、現況地目、畑、面積26,318㎡。3、利用権の種類、賃貸借権。4、契約期間、平成23年7月26日から令和3年6月30日まで。5、合意解約成立の日、令和3年3月11日。6、解約の理由、合意解約。
この案件については、議案第46号(1)に関連するもので、賃貸借していた農地

について、近隣農家に賃貸借を設定するため、期間内解約するものです。
以上貸借の解約が成立しているものと考えますのでご審議願います。

議 長 説明が終わりましたので、質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議 長 なければ質疑を打ち切ります。おはかり致します。
本案は原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(全委員) 「異議なし」の声

議 長 ご異議ないものと認めます。
よって本案は原案のとおり、可決されました。
日程4、議案第45号「現況証明願いについて」を上程致します。(1)について、
地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。
(挙手あり) 武田委員。

武田委員 上程になりました議案第45号「現況証明願いについて」(1)について説明いたします。
4ページをお開きください。
(1) 1、申請人の住所、氏名。
中標津町字○○○○線○○番地、(有)○○○○、代表取締役、○○ ○。
2、土地の表示。字○○○○番○、公簿、畑、現況、農地・採草放牧地以外、面積
4,681㎡。利用状況、雑種地。3、許可を受けようとする事由。地目変更申請のため。
4、見取図は5ページのとおりです。
案件につきましては、地目変更登記のため申請があったものです。
当該地は農業振興地域内の農用地区域外となっており、公簿が畑ですが、現況が雑
種地であることから、現況非農地の証明が必要なものであります。
令和3年3月23日、第3地区推進班で現地確認し、現況については農地・採草放
牧地以外の土地であると判断したものであります。以上です。

議 長 説明が終わりましたので、質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議 長 なければ質疑を打ち切ります。おはかり致します。
本案は原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(全委員) 「異議なし」の声

議 長 ご異議ないものと認めます。
よって本案は原案のとおり可決されました。

日程5、報告第17号「農地法第4条の規定による農地転用許可後の事業完了届について」を議題に供します。

(1)について、内容を地区推進班から報告願います。

(挙手あり) 武田委員。

武田委員 報告第17号「農地法第4条の規定による農地転用許可後の事業完了届について」
(1)について説明いたします。61ページをお開きください。
(1) 1、届出人の住所、氏名。
中標津町字〇〇〇〇〇番地〇、〇 〇〇。
2、許可年月日、許可番号。令和元年10月25日付、中農委4第令元-16号。
3、許可地の所在。中標津町字〇〇〇〇〇番〇。4、転用目的、農業用施設。5、事業計画の期間。令和元年10月25日から令和3年9月25日まで。6、事業完了年月日。令和3年1月9日。7、この完了検査につきましては、令和3年3月23日、第3地区推進班において現地確認を行い、計画通り建設されていたことを確認しております。以上報告いたします。

議長 報告が終わりましたので、質疑を受けたいと思います。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。
(2)について、内容を地区推進班から報告願います。
(挙手あり) 竹村委員。

竹村委員 報告第17号(2)について説明いたします。62ページをお開きください。
(2) 1、届出人の住所、氏名。
中標津町字〇〇〇〇〇番地〇、〇〇 〇。
2、許可年月日、許可番号。令和2年3月18日付、中農委4第令元-19号。3、許可地の所在。中標津町字〇〇〇〇〇番〇、他1筆。4、転用目的、砂利、黒墨、土採取。5、事業計画の期間。令和2年3月19日から令和3年3月18日まで。6、事業完了年月日。令和2年12月30日。7、完了検査年月日につきましては、令和3年3月15日に工事完了の報告を受けておりますが、積雪のため現地調査をせず、同日付けで、完了報告の写真にて確認したところです。なお、現地については雪解け後に再確認する予定です。以上報告いたします。

議長 報告が終わりましたので、質疑を受けたいと思います。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。以上で事業完了届についての報告を終わります。
日程6、報告第18号「農地法第4条の規定による許可の取消について」を上程致します。
(1)について、地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。

(挙手あり) 後藤田委員。

後藤田委員 報告第18号(1)について説明いたします。64ページをお開きください。

(1) 1、届出人の住所、氏名。

中標津町字〇〇〇〇線北〇〇番地〇、〇〇 〇〇。

2、土地の表示。中標津町字〇〇〇〇線北〇〇番〇。3、許可年月日、許可番号。令和2年12月18日付、中農委4第令2-11号指令。4、転用目的、農家用住宅建設のため。5、取消の事由、転用計画の中止。

この案件につきましては、令和2年1月20日開催の第5回中標津町農業委員会総会議案第24号(1)で審議された後承認され、令和3年1月26日開催の第7回中標津町農業委員会総会報告第15号(1)で許可の報告をしたものですが、許可申請箇所の住宅敷地及び進入道路の一部が中山間直接支払制度対象農地であることが判明したため、対象農地となっていない農地での住宅建設をすることとして、新たに申請することから取り消すものです。

議長 報告が終わりましたので、質疑を受けたいと思います。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。以上で報告を終わります。

日程7、議案第47号「農地法第4条の規定による農地転用許可後の事業計画変更承認について」を上程致します。ここで、本案件につきましては、私ごとに関する事項が含まれておりますので、規定により、議長は武田会長代理にお願い致します。

(本田会長降壇、議席へ)(武田代理登壇)

議長 会長に代わり、議事を進行致します。

ここで、会議規則第16条の規定により、〇〇番〇〇委員の退席をお願い致します。

(〇〇〇〇退席)

議長 (1)について内容を地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。

(挙手あり) 田中洋希委員。

田中委員 上程になりました議案第47号「農地法第4条の規定による農地転用許可後の事業計画変更承認について」(1)について説明いたします。20ページをお開きください。

(1) 1、当事者の住所、氏名。

申請人、中標津町字〇〇〇〇〇〇番地〇、(有)〇〇〇〇、代表取締役、〇〇 〇〇。

2、土地の表示。字〇〇〇〇〇〇番〇、公簿、畑、現況、畑、面積6,670㎡。3、許可期間。令和2年4月24日から永年。4、変更理由。工事作業員不足及び地盤改良に伴う工事期間の延長が必要となったため工期を変更する。5、変更後の事業

計画。変更前、転用期間、令和2年4月25日から令和3年4月24日まで。変更後、転用期間、令和2年4月25日から令和3年12月31日まで。

この案件につきましては、令和2年3月25日開催の第33回中標津町農業委員会総会議案第187号(1)で審議されたのち承認され、令和2年5月28日開催の第35回中標津町農業委員会総会報告第98号(1)で許可の報告をしたものです。本件は、工事作業員不足及び大規模な地盤改良に伴い、工事期間を延長するものです。変更後の転用事業の実施確実性と周辺農業等に及ぼす影響は、当初計画と何ら変わらないことから、問題ないものと判断しました。以上です。

議長 説明が終わりましたので、(1)の質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。おはかり致します。
本案は原案のとおり決することに、ご異議ございませんか

(全委員) 「異議なし」の声

議長 ご異議ないものと認めます。よって本案は原案のとおり、可決されました。

(〇〇〇〇着席)

議長 〇〇委員に申し上げます。本案は原案のとおり、可決されました。
ここで議長を交代し、今後の議事は、本田会長にお願い致します。

(武田代理降壇、議席へ) (本田会長登壇)

議長 日程8、議案第48号「農地法第4条の規定による許可申請について」を上程致します。(1)について内容を地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。
(挙手あり) 中村委員。

中村委員 上程になりました議案第48号「農地法第4条の規定による許可申請について」(1)について説明いたします。22ページを開きください。

(1) 1、当事者の住所、氏名。

中標津町字〇〇〇〇〇〇番地、(有)〇〇〇〇、代表取締役、〇〇〇 〇〇。

2、許可を受けようとする土地の表示。字〇〇〇〇〇〇番〇、公簿、畑、現況、畑、面積274,886㎡内3,725㎡、他1筆、合計8,000㎡。3、許可を受けようとする事由。農業用施設建設のため。4、転用の期間。許可日から永年。5、見取図については、23ページのとおりとなっております。本案件につきましては、農業用附属施設を建設するため申請があったものです。経営規模拡大のため、農業用附属施設の建設にあたり、計画する施設規模から、現有施設用地内では不足する状況となったため、農地転用して建設するものであります。申請面積については、8,000㎡で、令

和3年3月23日に第1地区推進班において現地確認を行ったところ、申請地は作業道路、既存農業用施設に隣接しており、利便性を考慮すると代替地は他にないことから、別添の農地法第4条調査書のとおり転用は止むを得ないものと判断いたしました。以上です。

議長 説明が終わりましたので、(1)の質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。(2)について内容を地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。
(挙手あり) 後藤田委員。

後藤田委員 上程になりました議案第48号(2)について説明いたします。24ページを開きください。

(2)1、当事者の住所、氏名。

中標津町字〇〇〇〇線北〇〇番地〇、〇〇 〇〇。

2、許可を受けようとする土地の表示。字〇〇〇〇線北〇〇番〇、公簿、畑、現況、畑、面積24,167㎡内990㎡。3、許可を受けようとする事由。農家用住宅建設のため。4、転用の期間。許可日から永年。5、見取図については、25ページのとおりとなっております。この案件につきましては、令和2年1月20日開催の第5回中標津町農業委員会総会議案第24号(1)で審議されたのち承認され、令和3年1月26日開催の第7回中標津町農業委員会総会報告第15号(1)で許可の報告をしたものですが、許可申請箇所の住宅敷地及び進入道路の一部が中山間直接支払制度対象農地であることが判明したため、対象農地になっていない農地での住宅建設をすることとして、一度許可を取り消して、新たに、申請するものです。申請面積については990㎡となっております。令和3年3月23日、第2地区推進班において現地確認を行ったところ、この案件については、中標津町農業振興地域整備計画における『農業を担うべき者の育成及び確保の施設』に該当し、別添の農地法第4条調査書のとおり、転用は止むを得ないものと判断したものです。なお、今回は平成28年3月8日決定「農地法第4・5条に係る30アール以下の農地転用に関する北海道農業会議への意見聴取に関する申し合わせ」により、可決後に北海道農業会議への意見聴取を要しない案件であることを申し添えます。以上です。

議長 説明が終わりましたので、(2)の質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。(3)について内容を地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。
(挙手あり) 笠原委員。

笠原委員 上程になりました議案第48号(3)について説明いたします。26ページを開き
ください。

(3) 1、当事者の住所、氏名。

中標津町字○○○○○○番地○、○○ ○○。

2、許可を受けようとする土地の表示。字○○○○○○番○、公簿、畑、現況、畑、
面積13,561㎡、他2筆、合計36,568㎡。3、許可を受けようとする事由。農業用
建設のため。4、転用の期間。許可日から永年。5、見取図については、27ページ
のとおりとなっております。本案件につきましては、搾乳舎及び農業用附帯施設を
建設するため申請があったものです。経営規模拡大のため、搾乳舎及び農業用附帯
施設の建設にあたり、計画する施設規模から、現有施設用地内では不足する状況と
なったため、農地転用して建設するものであります。申請面積については、36,568
㎡で、令和3年3月23日に第2地区推進班において現地確認を行ったところ、申
請地は作業道路、既存農業用施設に隣接しており、利便性を考慮すると代替地は他
にないことから、別添の農地法第4条調査書のとおり転用は止むを得ないものと判
断いたしました。以上です。

議長 説明が終わりましたので、(3)の質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。(4)について内容を地区推進班から議案の朗読と説
明をお願いします。

(挙手あり) 武田委員。

武田委員 上程になりました議案第48号(4)について説明いたします。28ページを開き
ください。

(4) 1、当事者の住所、氏名。

中標津町字○○○○○○番地○○、○○○○(株)、代表取締役、○○ ○○。

2、許可を受けようとする土地の表示。字○○○○○○番○○、公簿、畑、現況、
畑、面積11,193㎡。3、許可を受けようとする事由。農業用建設のため。4、転用
の期間。許可日から永年。5、見取図については、29ページのとおりとなり
ます。

本案件につきましては、育成舎・パドック及び農業用附帯施設を建設するため申請
があったものです。経営規模拡大のため、育成舎・パドック及び農業用附帯施設
の建設にあたり、計画する施設規模から、現有施設用地内では不足する状況とな
ったため、農地転用して建設するものであります。申請面積については、11,193
㎡で、令和3年3月23日に第3地区推進班において現地確認を行ったところ、申
請地は作業道路、既存農業用施設に隣接しており、利便性を考慮すると代替地は
他にないことから、別添の農地法第4条調査書のとおり転用は止むを得ないもの
と判断いたしました。以上です。

議長 説明が終わりましたので、(4)の質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。(5)(6)について内容を地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。

(挙手あり) 竹村委員。

竹村委員 上程になりました議案第48号(5)(6)について説明いたします。30ページを開きください。

(5) 1、当事者の住所、氏名。

中標津町字〇〇〇〇〇番地〇、〇〇 〇。

2、許可を受けようとする土地の表示。字〇〇〇〇〇番〇、公簿、畑、現況、畑、面積4,294㎡の内314㎡、他2筆、合計12,544㎡。3、許可を受けようとする事由。砂利、黒墨、土採取のため。4、転用の期間。令和3年4月23日から令和4年4月22日まで。5、見取図については、31ページのとおりとなっております。この案件につきましては、砂利・黒墨・土採取のため申請があったものです。積雪のため現地調査をせず、申請書の資料にて確認したところですが、〇〇氏の4条申請による砂利等採取については平成7年度より計画的に採取事業を実施しているところであり、採取計画が終了することにより一団の農地として利用することが可能になることから、別添の農地法第4条調査書のとおり転用は止むを得ないものと判断いたしました。なお、現地については雪解け後に再確認する予定です。

32ページを開きください。

(6) 1、当事者の住所、氏名。

中標津町字〇〇〇〇〇番地〇、(株)〇〇〇〇、代表取締役、〇〇 〇〇。

2、許可を受けようとする土地の表示。字〇〇〇〇〇〇番〇、公簿、畑、現況、畑、面積141,032㎡内1,750㎡。3、許可を受けようとする事由。農業用建設のため。4、転用の期間。許可日から永年。5、見取図については、33ページのとおりとなっております。

本案件につきましては、乾乳舎及び農業用附帯施設を建設するため申請があったものです。経営規模拡大のため、乾乳舎及び農業用附帯施設の建設にあたり、計画する施設規模から、現有施設用地内では不足する状況となったため、農地転用して建設するものであります。申請面積については、1,750㎡で、令和3年3月23日に第3地区推進班において現地確認を行ったところ、申請地は作業道路、既存農業用施設に隣接しており、利便性を考慮すると代替地は他にないことから、別添の農地法第4条調査書のとおり転用は止むを得ないものと判断いたしました以上です。

議長 説明が終わりましたので、(5)(6)の質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。おはかり致します。

本案は原案のとおり、北海道農業会議へ意見聴取することに、ご異議ございません

か。

(全委員) 「異議なし」の声

議 長 ご異議ないものと認めます。
よって本案は原案のとおり、意見聴取致します。
日程9、報告第19号「農地法第5条の規定による農地転用許可後の事業完了届について」を議題に供します。(1)について、内容を地区推進班から報告願います。
(挙手あり)和泉委員。

和泉委員 報告第19号「農地法第5条の規定による農地転用許可後の事業完了届について」
(1)について説明いたします。66ページをお開きください。
(1)1、届出人の住所、氏名
中標津町〇〇〇条〇〇丁目〇番地、(有)〇〇〇〇〇〇、代表取締役社長、〇〇 〇。
2、許可年月日、許可番号。令和2年4月24日付、中農委5第令2-2号。3、
許可地の所在。中標津町字〇〇〇〇〇〇番〇、他1筆。4、転用目的。砂採取。5、
事業計画の期間。令和2年4月26日から令和3年4月25日まで。6、事業完了
年月日。令和2年12月27日。7、完了検査年月日につきましては、令和3年2
月12日に工事完了の報告を受けておりますが、積雪のため現地調査をせず、同日
付けで、完了報告の写真にて確認したところ。なお、現地については雪解け後
に再確認する予定です。以上報告いたします。

議 長 報告が終わりましたので、質疑を受けたいと思います。

(全委員) 「質疑なし」の声

議 長 なければ質疑を打ち切ります。
以上で事業完了届についての報告を終わります。
日程10、議案第49号「農地法第5条の規定による許可申請について」を上程致
します。(1)について地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。
(挙手あり)長谷川委員。

長谷川委員 上程になりました議案第49号「農地法第5条の規定による許可申請について」(1)
について説明致します。議案の35ページをお開きください。
(1)1、当事者の住所、氏名。
貸主、中標津町字〇〇〇〇〇番地、〇〇 〇〇。
借主、野付郡別海町〇〇〇〇町〇〇〇番地、〇〇〇〇(株)、代表取締役社長、〇〇 〇。
2、許可を受けようとする土地の表示。字〇〇〇〇〇番〇、公簿、畑、現況、畑、
面積42,018㎡の内2,436㎡、他4筆、合計、19,416㎡。3、許可を受けようとする
事由。砂利採取のため。4、転用の期間。令和3年4月28日から令和4年4月
27日まで。5、権利の種類。賃貸借権。6、採取量、砂利11,705㎡。7、最大切
深。9.8m。8、見取図については、36ページのとおりとなっております。

この案件につきましては、砂利採取のため申請があったものです。継続案件で5年程度の期間をかけて砂利採取を行なおうとするもので、今回の申請面積は19,416㎡となっております。令和2年12月18日、第4・5地区推進班において現地確認を行っており、建設工事に必要な資源採取のための一時転用であり、別添の農地法第5条調査書のとおり転用は止むを得ないものと判断いたしました。以上です。

議長 説明が終わりましたので、(1)の質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。おはかり致します。
本案は原案のとおり、北海道農業会議へ意見聴取することに、ご異議ございませんか。

(全委員) 「異議なし」の声

議長 ご異議ないものと認めます。
よって、本案は原案のとおり、意見聴取致します。
日程11、議案第50号「農業経営基盤強化促進法第18条の規定による農用地利用集積計画の決定について」を上程致します。なお、本案件につきましては、(1)から(8)、(9)、(10)の3回に分けて審議を致します。(1)から(8)について、地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。
(挙手あり) 中村委員。

中村委員 上程になりました議案第50号「農業経営基盤強化促進法第18条の規定による農用地利用集積計画の決定について」(1)から(8)について、説明いたします。
議案の38ページをお開きください。

(1) 1、当事者の住所、氏名、年齢。

貸主、中標津町丸山2丁目22番地、中標津町長、西村 穰。

借主、中標津町字○○○線○○番地○、○○ ○○、○○歳。

2、土地の表示。字○○○○○○番○、公簿、畑、現況、畑、面積482,353㎡の内65,000㎡、利用目的、牧草畑。3、許可を受けようとする事由。貸主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。借主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。4、権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容。賃貸借権の設定。5、期間。令和3年4月1日から令和4年3月31日まで。6、価格。年130,000円。7、資金調達方法。自己資金130,000円。8、借主の経営状況。世帯員、9人、農従者、4人、経営地、計1,264,144.03㎡、家畜、牛425頭。9、適用。農業経営基盤強化促進事業。10、見取図は、46ページのとおりです。なお(2)から(8)につきましても、貸主が同一であり、見取り図につきましても46ページ、47ページのとおりでありますので、貸主の氏名等を省略し、一括して説明いたします。39ページをお開きください。

(2) 1、当事者の住所、氏名、年齢。

借主、中標津町字〇〇〇〇線〇〇番地〇、〇〇 〇〇、〇〇歳。

2、土地の表示。字〇〇〇〇〇〇番〇、公簿、畑、現況、畑、面積 482,353 m²の内 68,000 m²、利用目的、牧草畑。3、許可を受けようとする事由。貸主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。借主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。4、権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容。賃貸借権の設定。5、期間。令和3年4月1日から令和4年3月31日まで。6、価格。年 136,000 円。7、資金調達方法。自己資金 136,000 円。8、借主の経営状況。世帯員、5 人、農従者、5 人、経営地、計 577,224 m²、家畜、牛 77 頭。9、適用。農業経営基盤強化促進事業。

40 ページをお開きください。

(3) 1、当事者の住所、氏名、年齢。

借主、中標津町字〇〇〇〇〇〇番地、〇〇〇 〇〇、〇〇歳。

2、土地の表示。字〇〇〇〇〇〇番〇、公簿、畑、現況、畑、面積 600,097 m²の内 52,000 m²、利用目的、牧草畑。3、許可を受けようとする事由。貸主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。借主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。4、権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容。賃貸借権の設定。5、期間。令和3年4月1日から令和4年3月31日まで。6、価格。年 104,000 円。7、資金調達方法。自己資金 104,000 円。8、借主の経営状況。世帯員、1 人、農従者、1 人、経営地、計 565,429 m²、家畜、牛 90 頭。9、適用。農業経営基盤強化促進事業。

41 ページをお開きください。

(4) 1、当事者の住所、氏名、年齢。

借主、中標津町字〇〇〇〇〇〇番地〇、〇〇 〇〇、〇〇歳。

2、土地の表示。字〇〇〇〇〇〇番〇、公簿、畑、現況、畑、面積 600,097 m²の内 143,000 m²、利用目的、牧草畑。3、許可を受けようとする事由。貸主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。借主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。4、権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容。賃貸借権の設定。5、期間。令和3年4月1日から令和4年3月31日まで。6、価格。年 286,000 円。7、資金調達方法。自己資金 286,000 円。8、借主の経営状況。世帯員、10 人、農従者、4 人、経営地、計 1,409,243 m²、家畜、牛 318 頭。9、適用。農業経営基盤強化促進事業。

42 ページをお開きください。

(5) 1、当事者の住所、氏名、年齢。

借主、中標津町字〇〇〇〇〇番地〇、〇〇 〇〇、〇〇歳。

2、土地の表示。字〇〇〇〇〇〇番〇、公簿、畑、現況、畑、面積 192,274 m²の内 76,000 m²、利用目的、牧草畑、他 1 筆、合計畑 176,000。3、許可を受けようとする事由。貸主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。借主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。4、権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容。賃貸借権の設定。5、期間。令和3年4月1日から令和4年3月31日まで。6、価格。年 292,000 円。7、資金調達方法。自己資金 292,000 円。8、借主の経営状況。世帯員、7 人、農従者、4 人、経営地、計 1,167,319 m²、家畜、牛 217 頭。9、適用。農業経営基盤強化促進事業。

43 ページをお開きください。

(6) 1、当事者の住所、氏名、年齢。

借主、中標津町字〇〇〇〇〇〇番地〇、(有)〇〇〇〇、代表取締役、〇〇 〇〇。

2、土地の表示。字〇〇〇〇〇〇番〇、公簿、畑、現況、畑、面積 192,274 m²の内 83,000 m²、利用目的、牧草畑。3、許可を受けようとする事由。貸主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。借主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。4、権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容。賃貸借権の設定。5、期間。令和3年4月1日から令和4年3月31日まで。6、価格。年 166,000 円。7、資金調達方法。自己資金 166,000 円。8、借主の経営状況。構成員、2人、農従者、2人、経営地、計 1,302,488 m²、家畜、牛 313 頭。9、適用。農業経営基盤強化促進事業。44 ページをお開きください。

(7) 1、当事者の住所、氏名、年齢。

借主、中標津町字〇〇〇〇線〇〇番地〇〇、〇〇〇 〇〇、〇〇歳

2、土地の表示。字〇〇〇〇〇〇番〇、公簿、畑、現況、畑、面積 482,353 m²の内 165,000 m²、利用目的、牧草畑、他1筆、合計畑 339,000 m²。3、許可を受けようとする事由。貸主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。借主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。4、権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容。賃貸借権の設定。5、期間。令和3年4月1日から令和4年3月31日まで。6、価格。年 678,000 円。7、資金調達方法。自己資金 678,000 円。8、借主の経営状況。世帯員、6人、農従者、4人、経営地、計 1,368,041 m²、家畜、牛 155 頭。9、適用。農業経営基盤強化促進事業。45 ページをお開きください。

(8) 1、当事者の住所、氏名、年齢。

借主、中標津町字〇〇〇〇〇〇番地、(有)〇〇〇〇、代表取締役、〇〇〇 〇〇。

2、土地の表示。字〇〇〇〇〇〇番〇、公簿、畑、現況、畑、面積 482,353 m²の内 46,000 m²、利用目的、牧草畑、他1筆、合計畑 183,000 m²。3、許可を受けようとする事由。貸主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。借主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。4、権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容。賃貸借権の設定。5、期間。令和3年4月1日から令和4年3月31日まで。6、価格。年 366,000 円。7、資金調達方法。自己資金 366,000 円。8、借主の経営状況。構成員、2人、農従者、2人、経営地、計 2,082,619 m²、家畜、牛 632 頭。9、適用。農業経営基盤強化促進事業。

以上の8件につきましては、1年ごとの賃貸借契約期間満了に伴い、再設定するものであり、別添調査書のとおり農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしているものと判断いたしました。以上です。

議長 説明が終わりましたので、(1) から (8) の質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。

おはかり致します。議案第50号(1) から(8) について、これを原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(全委員) 「異議なし」の声

議長 ご異議ないものと認めます。
よって本案は原案のとおり、可決されました。
ここで、会議規則第16条の規定により、〇〇番〇〇委員の退席をお願い致します。

(〇〇委員退席)

(9) について、地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。
(挙手あり) 後藤田委員。

後藤田委員 上程になりました議案第50号(9)について説明いたします。48ページをお開きください。

(9) 1、当事者の住所、氏名、年齢。

貸主、釧路市〇〇〇〇丁目〇番〇〇号、〇〇 〇〇、〇〇歳。

借主、中標津町字〇〇〇〇線〇〇番地、〇〇 〇〇、〇〇歳。

2、土地の表示。字〇〇〇〇線〇〇〇番〇、公簿、原野、現況、畑、面積33,778の内19,430㎡、利用目的、牧草畑。他1筆、合計31,970㎡。3、許可を受けようとする事由。貸主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。借主、期間満了により賃貸借を再設定するもの。4、権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容。賃貸借権の設定。5、期間。令和3年4月1日から令和4年3月31日まで。6、価格。年127,000円。7、資金調達方法。自己資金127,000円。8、借主の経営状況。世帯員、4人、農従者、4人、経営地、計931,057.86㎡、家畜、牛162頭。9、適用。農業経営基盤強化促進事業。10、見取図は、49ページのとおりです。この案件につきましては、賃貸借の期間満了に伴い、再設定するものであり、別添の調査書のとおり、農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしているものと判断いたしました。以上です。

議長 説明が終わりましたので、(9)の質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。おはかり致します。
本案は原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(全委員) 「異議なし」の声

議長 ご異議ないものと認めます。
よって本案は原案のとおり、可決されました。

(〇〇委員着席)

議長 〇〇委員に申し上げます。本案は原案のとおり、可決されました。
(10) について、地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。

(挙手あり) 二瓶委員。

二瓶委員 上程になりました議案第50号(10)について説明いたします。50ページをお聞きください。

(10) 1、当事者の住所、氏名、年齢。

貸主、中標津町字〇〇〇〇〇〇番地〇、〇〇 〇〇、〇〇歳。

借主、中標津町字〇〇〇〇線〇〇番地〇、〇〇 〇〇、〇〇歳。

2、土地の表示。字〇〇〇〇〇〇番〇、公簿、畑、現況、畑、面積11,501の内11,000㎡、利用目的、牧草畑。他5筆、合計70,000㎡。3、許可を受けようとする事由。貸主、期間満了により貸借を再設定するもの。借主、期間満了により貸借を再設定するもの。4、権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容。貸借権の設定。5、期間。令和3年4月1日から令和13年3月31日まで。6、価格。年211,000円。7、資金調達方法。自己資金211,000円。8、借主の経営状況。世帯員5人、農従者2人、経営地、計971,677㎡、家畜、牛119頭。9、適用。農業経営基盤強化促進事業。10、見取図は、52ページのとおりです。この案件につきましては、貸借の期間満了に伴い、再設定するものであり、別添の調査書のとおり、農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしているものと判断いたしました。以上です。

議長 説明が終わりましたので、(10)の質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。おはかり致します。
本案は原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(全委員) 「異議なし」の声

議長 ご異議ないものと認めます。
よって本案は原案のとおり、可決されました。
日程12、議案第51号「耕地防風林の設置について」を議題に供します。
ここで、会議規則第16条の規定により、〇番〇〇〇〇委員の退席をお願い致します。

(〇〇委員退席)

(1)について、地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。

(挙手あり) 高橋委員。

高橋委員 上程になりました議案第51号「耕地防風林の設置について」(1)について説明致します。54ページをお聞きください。

(1) 1、当事者の住所、氏名。

中標津町字〇〇〇〇線〇〇〇番地〇、〇〇 〇〇。

2、耕地防風林等設置の理由。風雪を防ぐため。3、耕地防風林等を設置する農地の地番、地積。中標津町字〇〇〇〇線〇〇〇番〇、32,393 m²。4、耕地防風林等設置面積。1,718.9 m²。5、耕地防風林等の幅員及び長さ。幅員 10.0m、長さ 172.0m。6、耕地防風林等の樹種。トドマツ。7、工期。事業着手、令和3年4月1日。事業完了、令和3年6月30日。施工者、中標津町森林組合。8、地区推進班の意見。特に風の強い箇所であり防風のため止むを得ないと思われる。9、見取図につきましては、55ページのとおりとなっております。

この件につきましては、防風、防雪のため届出があったものです。

耕地防風林については、農地法施行規則第29条第1項第1号の規定により、自ら耕作する他の農地の保全若しくは利用増進のための施設であれば、転用許可が不要となっております。令和3年3月23日、第1地区推進班による現地調査の結果、耕地防風林の林帯幅は原則10m以内でありますので、特に問題ないものと判断したのあります。以上です。

議長 説明が終わりましたので、質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。

おはかり致します。

本案は原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(全委員) 「異議なし」の声

議長 ご異議ないものと認めます。

よって本案は原案のとおり、可決されました。

(〇〇〇〇委員着席)

議長 〇〇〇〇委員に申し上げます。本案は原案のとおり、可決されました。

日程13、議案第52号「農地法第6条の規定に基づく農地所有適格法人の定期報告による要件の確認について」を議題に供します。内容を事務局から説明願います。

(挙手あり) 農地係長。

農地係長 議案第52号「農地法第6条の規定に基づく農地所有適格法人の定期報告による要件の確認について」ご説明致します。57ページをお開きください。

令和2年度分といたしまして、(株)〇〇〇〇〇〇〇〇、以上1件の提出がありました。

令和3年2月24日以降に受理した報告書でございまして、記載のとおり、いずれも農地所有適格法人の要件を全て満たしているものであります。

以上報告いたします。

議長 説明が終わりましたので、質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。おはかり致します。
本案は原案のとおり承認することに、ご異議ございませんか。

(全委員) 「異議なし」の声

議長 ご異議ないものと認めます。よって本件は、承認されました。
日程14、報告第20号「農政委員会開催報告について」を議題に供します。
内容を委員長から報告願います。
(挙手あり) 長谷川委員長

長谷川委員長 報告第20号「農政委員会開催報告について」説明いたします。68ページをお開き
ください。令和3年2月24日役場3・4号委員会室において、農政委員会を開催し
審議を行ったので、中標津町農業委員会会議規則第23条の規定によりその結果を
報告します。

審議内容。1. 令和4年度農業施策と予算に関する要望意見の検討について。

本年5月25日の全国農業委員会会長大会に併せて行われる、北海道選出国議員
に対する要請活動における要望・意見の集約を根室地方農業委員会連合会が行い、
本農業委員会の要望・意見を求められたものであり、事務局より提出の報告があっ
たものです。

協議結果。本農業委員会としては、事務局提出のとおり、以下の5項目を要望・意
見とする結論となったところであります。

1. 農業・農産物の貿易を含む他国との協定等交渉内容において、政府は国民に対
する十分な情報提供を行い、国会で審議する際にはその審議過程での真摯な対応を
すすめて、国民が確実に納得できる結論を得ること。

さらに、協定等の発動に伴う影響を十分に検証し、食の安全や食料の安定供給・自
給率の向上など、国内農業の振興を損なわないよう、加工原料乳生産者補助金、経
営所得安定対策など、農業経営安定対策の充実を図ること。

2. 離農者の廃屋の解体撤去、非農地の処分を含めた基盤整備への支援制度を創設
すること。

3. 農業経営の安定化と耕作放棄の未然防止を図るため、賃貸借への支援が中心で
全国一律の仕組みとなっている現行の農地集積対策を見直し、担い手への所有権移
転による農地集積の促進が重要であることを政策上の課題と位置づけ、売買による
農地集積への支援や非農家から担い手への所有権移転を促進する施策を導入するこ
と。また、離農による農地処分にあたり、速やかに農業者へ所有権移転がなされる
よう譲渡所得税の特別控除について大幅に引き上げること。

4. 離農時にあつせん等により所有権を移転した場合の譲渡所得特別控除の増額、
又は長期賃貸借後における所有権移転の場合の譲渡所得特別控除額の減額等、売買

時期により控除額に差が生じる事を要望する。

5. 生前一括贈与による贈与税納税猶予を受けている特例適用農地等の面積の20%を超え譲渡、貸付け、転用、耕作放棄をした場合、納税猶予の全部が打ち切りとなり、農業者年金法の特例付加年金（旧法の経営移譲年金を含む）の支給を目的に、全ての特例適用農地等を後継者へ使用貸借した場合は、継続適用の特例となっているが次の事項も追加すること。① 農業者年金受給に関わらず、後継者へ経営継承に伴う特例適用農地等を貸付ける場合、② 受贈者が構成員となる農地所有適格法人へ特例適用農地等を貸付ける場合。

令和3年度中標津町農業委員会総会開催日程について。

本農業委員会の令和3年度総会日程について協議した結果、次のとおり結論を得ております。

協議結果。総会は昨年同様に月1回、年12回の開催とし、4月から12月までは午前10時30分から、1月から3月までは午後1時30分からの開催といたします。以上、農政委員会の開催報告といたします。

議長 報告が終わりましたので、質疑を受けたいと思います。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。

以上で農政委員会の報告を終わります。

日程15、報告第21号「農地委員会開催報告について」を議題に供します。

内容を委員長から報告願います。

(挙手あり) 高橋委員長。

高橋委員 報告第21号「農地委員会開催報告について」説明いたします。議案の71ページをお開きください。令和3年3月3日役場3・4号委員会室において、農地委員会を開催し審議を行ったので、中標津町農業委員会会議規則第23条の規定によりその結果を報告します。

審議内容。1. 令和3年度中標津町農地移動適正化あっせん価格について。

中標津町農地移動適正化あっせん価格については、毎年農地委員会の検討結果に基づき総会において審議し、その年度の価格を決定しております。この度、令和2年度中標津町農地移動適正化あっせん価格について協議し、次のとおり結論を得ております。

協議結果。本町における令和2年1月から12月の売買事例では、ha当り80万円を取り引きされた事例はありません。

最も多く取り引きされた事例は、50万円未満を除き、ha当り60万円から65万円未満で全体の27.2%、次に多く取引された事例は70万円から75万円未満が25.2%で合わせると52.4%となっております。

平均単価は、平成30年から令和元年まで2年連続の下落が続いておりましたが、令和2年は、62万2千円、対前年比では3千円高い価格となりました。

近年では、地区毎に農地価格の変動が出てきていますが、当農業委員会の「農地あ

っせん事業」において不調となった事例はなく、農地流動化は順調に推移しております。本上限価格については、農業を取り巻く情勢は不透明であることから、現在の農地価格を見直す判断は困難であります。今後において、その情勢が明らかとなった場合には、対応が必要となる事もあると想定されますが、現状価格を見直すことは、農家自体の資産価値が変化することとなり、今後の経営への影響が懸念されます。以上検討の結果、今後も地区毎に農地価格に差が出ることは考えられるが、順調に農地集積が行われ、生産意欲の向上及び農業経営の安定が必要であることから、令和3年度中標津町農地移動適正化あっせん価格について、その上限価格を現行どおりのヘクタール当たり80万円が適正価格であるとの意見で一致したものであります。

2. 下限面積（別段の面積）の設定について。

下限面積は、農地法第3条第2項第5号の規定により各農業委員会で設定できることとなっておりますが、令和3年度の下限面積について協議の結果、次のとおり結論を得ております。また、毎年下限面積の設定又は修正の必要性について審議することとなっておりますが、毎年これを行う旨の通知が廃止されたことから、今後は、必要性が生じた時に下限面積の設定又は修正について検討するものとししました。協議結果。1. 農地法施行規則第17条第1項に基づく検討。

「設定区域は自然的経済的条件からみて営農条件がおおむね同一と認められる地域であること。」と規定されており、本町の設定区域は町内全域が妥当と思われる。2015農林業センサスで本町における農地又は採草放牧地を耕作又は養畜の事業に供している者のうち経営面積が農地法第3条第2項第5号で定める下限面積2ha（北海道）に達しない者は、380経営体のうち3経営体と全体の0.7%であり、農地法施行規則第17条第1項第3号で定める設定基準である40%を下回っている。

2. 農地法施行規則第17条第2項に基づく検討

「当該設定区域内に現に耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地その他その適正な利用を図る必要がある農地が相当程度存在すること。」と規定されているが、農地法第30条の規定に基づく利用状況調査の結果、本町の遊休農地率は0.0%と農地の遊休化されていない状況である。これらを踏まえ、令和3年度も別段の面積は設定する必要はないと結論したところであります。

3. ○○○所有地による農地転用の協議について

○○○から○○○へ農地法第3条の使用貸借権を設定している農地（中標津町字○○番○）に町外から肉牛預託事業を行う育成舎等の建設しようとする案件について、現況証明による非農地化及び農地法第4条に基づく自己転用ともに困難であることを本人に了承して貰うこととしたところであり、本人への回答した内容について報告し協議を行った。

協議結果。1月12日午前11時00分頃○氏本人が来庁し、農地委員会としての意見として、次のとおり本人に回答した。農地転用をしようとしている農地（字○○○○○番○）については、農地法第3条での使用貸借を設定しているので当然農地として使用するから結んでいることとなり、非農地とはならないため現況証明は出せない。また、農地法第4条に基づく自己転用は対象地に建設することの必

要性（代替性）の理由が○氏にはないため許可はできない旨説明し本人からの了承を得た。○氏からは一定の理解のもと了承を得たが、今後についても注意が必要であるとのことを確認した。

4. 新規法人設立による就農相談について

令和2年4月に(株)○○○○○○○へ所有権移転したハウス栽培している農地について(株)○○○○○○○と言う新規法人を設立してイチゴ栽培を行いたいとの相談があり、(株)○○○○○○○（※新規法人）(株)○○○○○○○は所有地で小葱栽培を行っていたが、業績悪化により新規法人に農地を譲渡したい意向ではあるが、許可後間もなく一般的に言われる3年3耕作を満たさない状況での新規法人への許可について協議を行った。

協議結果。農地所有適格法人による農地法第3条に基づく許可要件の一つ「全部効率利用要件」における「営農の継続性（一般的に3年3耕作を自ら行う）」について、北海道農業会議に問い合わせたところ「農地の所有権取得後3年3耕作しなければ第三者に当該農地の権利を移転・設定出来ないルールはない。このため「一定期間営農してない」というこの1点の理由だけを持って3条申請を受理しない・許可しないという取り扱いは適切ではないと考える。ただし、農地法の第3条の趣旨を鑑みれば筋の通る取り扱いだと思うし、資産保有・投資目的の農地権利取得の抑制力にも一役買っている事と思うので内部ルールとしてあって良いものと考え。しかし、状況によっては農地の所有権取得後に第三者へ売買・賃貸せざるを得ない状況は様々（権利取得者が疾病・負傷等）あり、それで営農出来なくなってしまう場合もあり、権利移動の理由を確認し、ケースバイケースで対応が必要」との回答があった。法的には3年3耕作の縛りはないとのことであり、農業委員会での判断となるため、農地委員会で、(株)○○○○○○○の営農計画や資金計画・販路等を確認してから最終決定することとした。

令和3年3月9日午前10時30分より第4回農地委員会を開催し、(株)○○○○○○○からの事情聴取及び質疑応答を行った。(株)○○○○○○○に出席要請し、会社の概要・営農計画・資金計画・販路等の説明の後、質疑応答し、(株)○○○○○○○を退席させた後、農地委員会の意見を決定した。

農地委員会としては、3年3耕作の法的な縛りはなく1年1耕作でも可能であること、(株)○○○○○○○の小葱栽培は赤字が続いており、今後耕作放棄地となる懸念があること及び(株)○○○○○○○の事情聴取の結果、事業達成が見込まれ、当該農地が有効に利用されることが見込まれることから、所有権移転はやむを得ないものと判断した。以上、農地委員会の開催報告とする。

議長 報告が終わりましたので、質疑に入ります。

（全委員） 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。以上で農地委員会の報告を終わります。日程16、議案第46号「農地法第3条の規定による許可申請について」を上程致します。なお、本案件につきましては、(1)(2)と(3)(4)そして(5)の3回に分けて審議を致します。

(1) について内容を地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。
(挙手あり) 中村委員。

中村委員 上程になりました議案第46号「農地法第3条の規定による許可申請について」(1) について説明いたします。7ページをお開きください。

(1) 1、当事者の住所、氏名、年齢、職業。

譲渡人、中標津町字〇〇〇〇〇〇番地、〇〇 〇、〇〇歳、無職。

譲受人、中標津町字〇〇〇〇〇〇番地〇、〇〇 〇〇、〇〇歳、農業。

2、土地の表示。字〇〇〇〇〇〇番〇、公簿、原野、現況、畑、面積26,318㎡、利用目的、牧草畑、他3筆、合計137,239㎡。3、許可を受けようとする事由。貸主、近隣農家へ賃貸借の設定するもの。借主、賃貸借を受けて経営規模拡大するもの。4、権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容。賃貸借権の設定。5、期間。令和3年4月1日から令和13年3月31日まで。6、当事者の経営状況。世帯員、3人、農従者、3人、経営地、計1,557,878.13㎡、家畜、牛164頭。7、見取図については、8ページのとおりとなっております。この案件につきましては、所有農地を近隣農家へ賃貸借の設定をしたい旨の申し出があったものであります。別添の調査書のとおり農地法第3条第2項の各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると判断いたします。以上です。

議長 説明が終わりましたので、(1)の質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。

(2) について内容を地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。
(挙手あり) 後藤田委員。

後藤田委員 上程になりました議案第46号(2)について説明いたします。9ページをお開きください。

(2) 1、当事者の住所、氏名、年齢、職業。

譲渡人、厚岸郡厚岸町〇〇〇丁目〇〇番地、(株)〇〇〇〇〇〇〇〇、代表取締役、成澤則充。

譲受人、中標津町〇〇〇条〇〇丁目〇〇番地、(株)〇〇〇〇〇〇〇〇、代表取締役、〇〇〇〇。

2、土地の表示。字〇〇〇〇〇〇番〇、公簿、山林、現況、畑、面積22,938㎡、利用目的、普通畑、。3、許可を受けようとする事由。譲渡人、経営規模を縮小するもの。譲受人、農地の所有権移転を受けて農業経営を行うもの。4、権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容。所有権の移転。5、価格。1,605,000円。6、当事者の経営状況。構成員、3人、農従者、10人、経営地なし。7、見取図については、10ページのとおりとなっております。この案件につきましては、報告第21号に関連するもので、所有していた農地について当事者双方の申し出により新農地所有適格法人に所有権移転したい旨の申し出があったものであります。別添の調査

書のとおり農地法第3条第2項の各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしているとは判断いたしました。以上です。

議長 説明が終わりましたので、(2)の質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。おはかり致します。
議案第46号(1)(2)について、これを原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(全委員) 「異議なし」の声

議長 ご異議ないものと認めます。
よって本案は原案のとおり、可決されました。
ここで、会議規則第16条の規定により、〇番〇〇委員の退席をお願い致します。

(〇〇委員退席)

(9)について、地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。

議長 なければ質疑を打ち切ります。(3)(4)について内容を地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。
(挙手あり) 竹村委員。

竹村委員 上程になりました議案第46号(3)(4)について説明いたします。11ページをお開きください。

(3) 1、当事者の住所、氏名、年齢、職業。

貸主、中標津町字〇〇〇〇線〇〇番地、〇〇 〇、〇〇歳、農業。

借主、中標津町字〇〇〇〇線〇〇番地、〇〇 〇〇、〇〇歳、農業。

2、土地の表示。字〇〇〇〇〇番〇、公簿、畑、現況、畑、面積85,675㎡、利用目的、牧草畑。他20筆、計768,390㎡。3、許可を受けようとする事由。貸主、後継者へ使用貸借を再設定するもの。借主、使用貸借を受け農業経営するもの。4、権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容。使用貸借権の設定。5、期間。令和3年3月25日から令和13年7月24日まで。6、当事者の経営状況。世帯員、5人、農従者5人、経営地、計783,991㎡、家畜、牛85頭。7、見取図については、13ページのとおりとなっております。この案件につきましては、使用貸借の期間が満了することに伴い、再設定するもので別添の調査書のとおり農地法第3条第2項の各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしているとは判断いたします。14ページをお開きください。

(4) 1、当事者の住所、氏名、年齢、職業。

貸主、中標津町〇〇〇〇番地〇〇、〇〇 〇〇、〇〇歳、農業。

借主、中標津町〇〇〇〇番地〇〇、〇〇 〇、〇〇歳、農業。

2、土地の表示。〇〇〇〇番〇、公簿、牧場、現況、採草放牧地、面積 49,807 m²、利用目的、牧草畑。他 12 筆、計 432,886 m²。3、許可を受けようとする事由。貸主、後継者へ使用貸借を再設定するもの。借主、使用貸借を受け農業経営するもの。4、権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容。使用貸借権の設定。5、期間。令和3年3月25日から令和13年3月24日まで。6、当事者の経営状況。世帯員、5人、農従者、5人、経営地、計 717,554 m²、家畜、牛 164 頭。7、見取図については、16 ページのとおりとなっております。この案件につきましては、使用貸借の期間が満了することに伴い、再設定するもので別添の調査書のとおり農地法第3条第2項の各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると判断いたします。以上です。

議 長 説明が終わりましたので、(3)(4)の質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議 長 なければ質疑を打ち切ります。おはかり致します。

議案第46号(3)(4)について、これを原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(全委員) 「異議なし」の声

議 長 ご異議ないものと認めます。

よって本案は原案のとおり、可決されました。

(武田委員着席)

議 長 武田委員に申し上げます。本案は原案のとおり、可決されました。

(5)について内容を地区推進班から議案の朗読と説明をお願いします。

(挙手あり) 田中洋希委員。

田中委員 上程になりました議案第46号(5)について説明いたします。18ページをお開きください。

(5)1、当事者の住所、氏名、年齢、職業。

貸主、中標津町丸山2丁目22番地、中標津町長、西村 穰。

借主、中標津町計根別本通東3丁目17番地1、計根別農業協同組合、代表理事組合長、北村 篤。

2、土地の表示。字養老牛492番1、公簿、原野、現況、畑、面積 803,715 m²の内 707,000 m²、利用目的、牧草畑、他 1 筆、合計 1,211,000 m²。3、許可を受けようとする事由。貸主、期間満了に伴い貸借の再設定をするもの。借主、期間満了に伴い貸借の再設定をするもの。4、権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容。貸借権の設定。5、期間。令和3年4月1日から令和8年3月3

1日まで。6、価格。年605,000円。7、資金調達方法。自己資金605,000円。8、当事者の経営状況。計根別農業協同組合につき省略。9、見取図については、18ページのとおりとなっております。この案件につきましては、賃貸借していた農地を放牧地に使用するため、再度賃貸借の設定をするものであります。別添の調査書のとおり農地法第3条第2項の各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると判断いたしました。以上です。

議長 説明が終わりましたので、(5)の質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。おはかり致します。
議案第46号(5)について、これを原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(全委員) 「異議なし」の声

議長 ご異議ないものと認めます。
よって本案は原案のとおり、可決されました。
日程17、議案第53号「令和3年度中標津町農地移動適正化あっせん価格について」を上程いたします。提案内容を事務局から説明願います。
(挙手あり) 農地係長

農地係長 上程になりました議案第53号「令和3年度中標津町農地移動適正化あっせん価格について」ご説明致します。58ページをお開きください。令和3年度中標津町農地移動適正化あっせん価格について、次のとおりとする。1ha当り上限80万円。
この案件につきましては、報告第21号にて高橋農地委員長から説明がありましたとおり、上限価格を現行の80万円で据え置くことで意見の一致をみております。
以上です。

議長 説明が終わりましたので、質疑に入ります。

(全委員) 「質疑なし」の声

議長 なければ質疑を打ち切ります。おはかり致します。
本案は原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(全委員) 「異議なし」の声

議長 ご異議ないものと認めます。
よって本案は原案のとおり、可決されました。
日程18、報告第22号「農業経営改善計画認定について」を議題に供します。内容を事務局から報告願います。

(挙手あり) 農地係長

農地係長 報告第22号「農業経営改善計画認定について」事務局よりご説明致します。
議案の76ページ・77ページをお開きください。
今回につきましては、令和元年12月13日から令和3年3月10日付けで認定の
あった15件について記載しております。新規認定は3件、再認定10件、変更2
件、となっております。以上報告いたします。

議 長 以上で報告を終わります。
以上で、本総会に提出されました議案の審議は、すべて終了致しました。
これもちまして、第9回総会を閉会致します。ご苦労さまでした。

(閉会 14時50分)

以上、本総会の顛末を記録し相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和3年3月30日

会 長 _____

15番 _____

16番 _____